

海が汚れています

AFP通信によると、北極海の氷に蓄積しているマイクロ・プラスチックの量が最悪のレベルに達しているということです。マイクロ・プラスチックとは排出されたプラスチック・ゴミが海洋で分解されてできた微小なプラスチックの粒子です。発生源は主にレジ袋やペットボトル・ナイロンやポリエステルなどの合成繊維、たばこのフィルター、漁網やブイ等です。温暖化で海氷の融解が進むと汚染が拡散し、重大な水質汚染につながり、生態系や人間の健康を脅かす可能性があります。

今、私たちに必要なことは、今までの習慣や生活を見直してプラスチックの使用を減らすことだと思います。まずは、使い捨てのプラスチック(ストロー、スプーン、皿、レジ袋等)の使用を控えることから始めませんか。

(T・A)



環境問題啓発用絵画・ポスター展
 中学2年生の部 最優秀作品
 秋多中学校 遊佐 光希

へらすぞう

第23号 2019年2月

あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力し、3Rを推進している団体です。



わたしたちが育てた枝豆を収穫したよ

南秋留小学校は、秋川にも近く、周囲に緑いっぱい地域に立地しています。

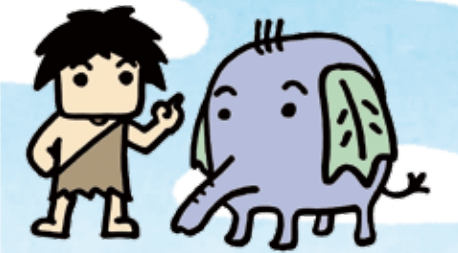
4年前から隣接する畑で4年生(3クラス)が授業の一環として大豆を栽培しています。目標は一部を枝豆として収穫し食べ、残りは大豆にし、味噌を作ることです。しかし、天候に左右されるため、大豆を収穫できないことがあります。平成29年は異常気象のせいか虫害がひどく、購入した大豆で味噌を作りました。

平成30年は7月に種蒔きをして育てましたが、大豆とすることはあきらめ、9月に枝豆を収穫し、家に持ち帰り食べました。子どもたちの感想を聞くと、栽培を通じて好き嫌いも克服でき、栽培の大変さ・食べ物を大切にすることをはぐくむことも出来るのだと感じました。

2月には購入した大豆を使い、味噌を作る予定だそうです。

取材 (C・S) (M・T) まとめ (K・K)

緑の中で植物にふれる機会
 は、きっと食べ物を大切に
 する心を養うのだろうね



虫を見つけ「キヤー」と後ずさりする子もいたよ



美味しそうな枝豆、こんなに沢山!

生ごみ堆肥化講習会 特別編「EM菌について学ぼう」

12月20日、あきる野市廃棄物減量等推進員主催の生ごみ堆肥化講習会特別編「EM菌について学ぼう」が開催され14名(内廃棄物減量等推進員8名)の方が参加されました。

久保田さんが極力農薬に頼らないで野菜を作ろうと思ったきっかけは、淡路島モンキーセンターでの手足のない奇形ザル多発のドキュメントTVを見たことで、大量の農薬が付いた輸入小麦を食べていたお母さんザルの体内に農薬が蓄積され、子ザルの受精から出生期に重大な影響を及ぼし、奇形ザルがたくさん生まれていました。それ以来、いろいろな取り組みの中でEM農法に出会って、微生物で発酵させた生ごみを畑に投入という作業を繰り返し、次第に土壌が豊かになり、大きく成長、かつ品質の良い野菜が収穫できるようになったそうです。



講師の久保田武男氏
 (NPO法人日の出太陽の家ボランティア
 センター理事長「東京地球農園」運営)

・オリンピック、パラリンピックで海外選手用の食材はオーガニックだそうです。こんな機会にあきる野市においても、農薬に頼らぬ農法の野菜が一層広まることを期待しています。

・参加された方は家庭菜園をやっている方達の様で熱心に聞いていました。私も今はダンポストを利用していますが、併用してもいいかなと思いました。

・本日持参してくださった、大根、ホウレンソウ、小松菜等、集まったみんなで生食しましたが、みずみずしく、かつ美味しい味見ができました。

・今日の環境の話など、もっと子どもがいる世代の私たちも聴いて、考えていく機会を作りたいと思いました。



EM菌を使った農法で育った野菜

編集後記

◎どんな人もごみを生み出す!しかし意識の持ち方でその量に差が出る。ごみ処理場と最終処分場を見学して、改めて感じました。技術が進歩して、処分場の埋め立て量は減っている。でも“ゼロ”ではない。“ゼロ”にはならない。買物をする時に品質と共に素材にも気を付けて環境汚染に繋がらない物を選ばなければと思います。

(C・S)

子どもたちの感想

きれいな黄緑色の豆は、新鮮だと思いました。自分で収穫した豆はとておいしかったです。また枝豆を作って食べたいです。Aくん

いつもは冷凍の枝豆を食べていたけど、自分達で育てた枝豆はやわらかくておいしかったです。弟も父・母もおいしいと言ってくれてうれしかった。Mさん

中島校長先生のお話

私が知っているのは7年前からですが、そのときは田んぼをやっていました。

平成29年度からは、地主さんが高齢になられ世話が難しいとのことで、畑だけになっています。

しかし、地域の方々が教育に協力して下さっているのはずっと昔からで(田は30年以上?)、田畑だけでなく毎週行われるボランティアの読み聞かせも、子どもたちは自然に受け止めています。

このことは子どもたちの財産です。

西秋川衛生組合へ行ってきました!

～初めての最終処分場見学～

11月7日、廃棄物減量等推進員6名で西秋川衛生組合の施設見学へ行ってきました。

市役所から車を走らせる事20分、網代地区にある御前石最終処分場に到着、景色がよく広々とした見晴らしの良い所でした。そこでは、最終処分場への埋め立てや、そこから発生する排水の処理、過去に埋め立てられたごみを掘り起こして搬出する作業が行われていました。

次に高尾清掃センターに移動し、熱回収施設とリサイクル施設を見学してきました。



高尾清掃センター

埋め立て期間はいつまで?

第2御前石最終処分場は、当初平成24年まで埋め立てが終わる予定でしたが、平成16年にごみの有料化と戸別収集が始まったことなどによってごみ量が減り、平成29年まで埋め立てができるようになりました。

さらに、平成26年の新炉の稼働によるプラスチックの焼却処理、焼却灰の資源化などにより埋め立てるごみの量が減ったこと、また最終処分場の掘り起こし再生事業により、計画埋め立て可能期間が平成55年まで延長になりました。



第2御前石最終処分場



ごみの掘り起こしの写真

ごみの掘り起こして何?

計画埋め立て可能期間が延長になったのは、旧ごみ処理施設で発生して埋め立てられた焼却灰や不燃系処理残渣(プラスチックなど)の掘り起こし、その掘り起こしたごみを新炉で処理することにより、最終処分場を再生しているからです。また、現在の最終処分場への埋め立ては、新炉から発生した安定化処理をした飛灰処理物のみで、旧ごみ処理施設から発生して埋め立てられていたごみ量の約1/3です。

このようなことから、最終処分場の計画埋め立て可能期間が25年も延長することができました。

可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみが直接搬入できます。

- 持ち込みできる方は、あきる野市にお住まいの方及び土地・家屋をお持ちの方で、家庭から排出されるごみに限ります。個人及び法人で事業を営む方は持ち込めません。氏名・住所を自動車運転免許証などで確認します。
 - 分別していないもの、資源・有害ごみ、事業所ごみ、処理不能(困難)物、産業廃棄物、建築廃材、処理に支障をきたすような多量のごみは、持ち込めません。
 - 有料袋に入れる必要はありません。ご家庭にあるビニール袋などに入れてください。なお、有料袋に入っている場合も手数料が必要になります。
- 持込日 月曜日から金曜日(祝日含む。年末年始除く)
○持込時間 午前9時から午後4時(正午から午後1時を除く)
○手数料 10kgあたり300円
○支払い方法 現金でお支払ください。
○問合せ 西秋川衛生組合(あきる野市高尾521、TEL596-4418)
ホームページ <http://www.nishiakigawa.or.jp/>



びん類手選別コンベヤ

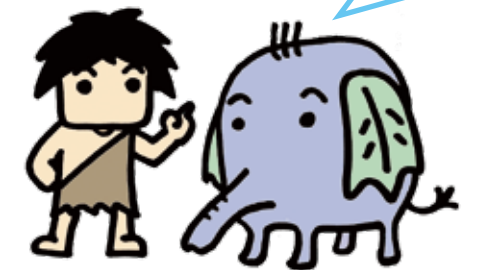


ペットボトル圧縮梱包装置

びんやペットボトルはどうやって分別をしているの?

びんは、再使用できる生びん(ビール・酒びん)を選別した後、再利用できないびんは3種類の色別に選別をします。いずれも手選別を経て行われています。また、ペットボトルの処理も手選別を経て行われています。残念ながら、中にはキャップやラベルが付いたものもあり支障になっています。

未来の世代まで処分場が使えるように、ごみの減量を心がけようね



みなさんからのメッセージ

・最終的には平成55年に処分場は満杯になります。それまでに有効な新技術で、ごみをもっと少なくなる方法をとるか、別の処分場を考えなくてはならないと思います。ということで、やはりごみを出さない循環の仕組み、生活を徹底することが今私たちにできることだと思います。

改めて一人一人が、ごみになることを考えごみになるものを使わないなど、意識をしていくことが大切だと思います。(M・T)

・施設の方々からの丁寧な説明を頂き興味深い一日を過ごしました。これからは、ごみを出すときは心して、丁寧にしっかり出していこうと思いました。(Y・M)

・私達もごみ減量に努めることはもちろん、適切かつ安全に処理・処分できる様にルールを守って出さなければ、処理費用の増加・売却費の低下などとなり、そのシワ寄せは自分たちに戻ってくるということを改めて感じました。(H・S)

・新設備稼働して間もない、平成26年9月見学した時点より、リサイクル施設も出来てごみ処理設備を始め施設全体、敷地内も整然として整備されていて、かつ特有の臭気も感じられずに見学出来ました。

高度な技術でプラントを24時間体制で稼働している、職員のみなさんの働きに感謝します。(K・M)



収集業者さんからのメッセージ

以前に比べ水分を多く含んだ可燃ごみは減った様に感じます。しかしながら、依然として資源になる様な紙くずは多く可燃ごみで捨てられているのが現状です。また、不燃ごみの中に有害ごみが混ざっている事があります。収集中や処理施設での火災の原因にも繋がります。収集業者は袋の口を開けて中身までの確認はできません。袋を持った時の感覚と透けて見える物で収集できるかできないかを判断しています。

市民の皆様ひとりひとりがごみの分別を心がけて頂ければ、ごみの減量に繋がります、事故も未然に防ぐ事ができます。

ぜひ、市役所のルールに従ってごみを出して頂けるようお願い致します。(T・U)

西秋川衛生組合では、小学生の社会科見学や一般の方の施設見学を受け付けております。ご希望の方は、日程等の調整が必要となりますので、事前に(おおむね1ヶ月前までに)ご連絡ください。